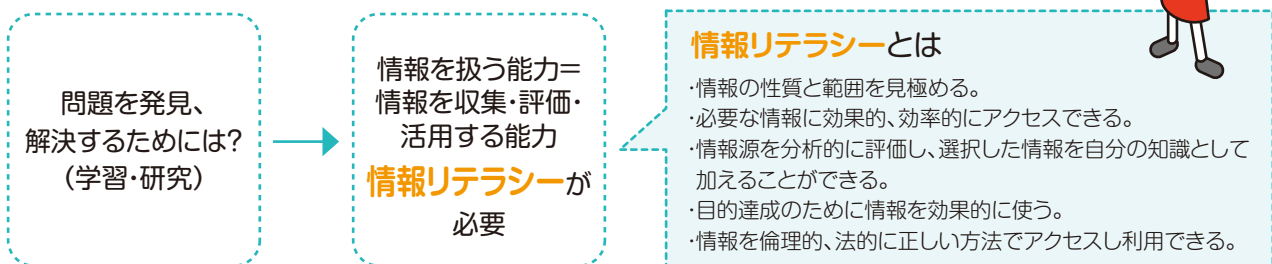


## 大学という場での情報リテラシー

みなさんは大学生を送るうえで、無意識にさまざまな情報を集めて日常のいろいろな問題を解決しながら過ごしています。情報は、人や物以外にテレビなどのマスメディアやインターネットから、音声・ビジュアル・文章などの形態で日々大量に生み出され、発信されています。大量の情報の中から、必要な情報を取捨選択し、適切に扱うことが大切です。



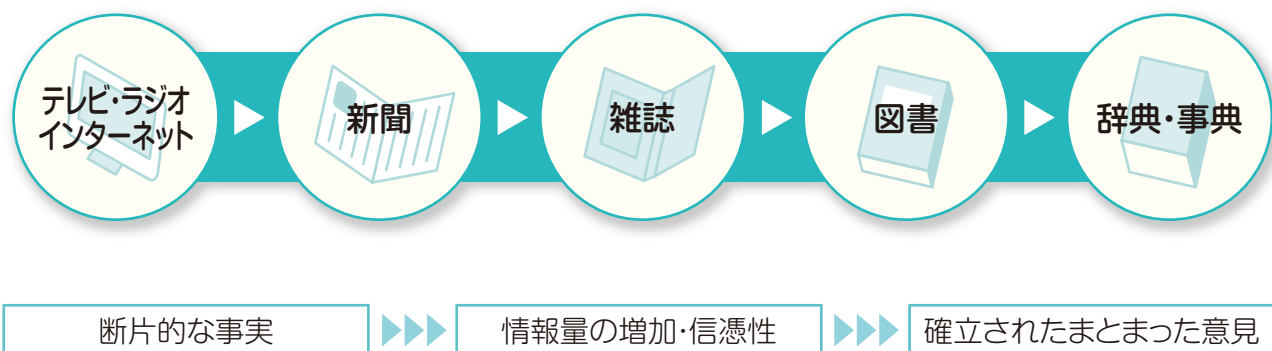
### ■ 学習・研究に必要な情報リテラシー

探索・入手した情報を**収集**する → 収集した情報を**評価**する → 考えをまとめて**活用**する ※

※ 情報を活用するときには、著作権に注意する必要があります。  
詳細は P10「レポート・論文を書くときのルール (引用)」をご覧ください。

## 情報生成の流れ

ひとつの情報は時間が経過するにつれ、断片的な事実に私見・分析・評価などが加わり、情報量が増加、信憑性も高まり、より確立された意見としてまとめられます。また、学術情報の場合は生成の過程で学位論文、統計、テクニカル・レポート、会議録などの情報が生成されます。自分に必要な情報を得るためには、どの媒体で得られた情報が適切かを判断することが重要です。



## 情報検索とは？

情報検索とは、情報の蓄積の中から必要なものを選択して取り出すこと、また、その技術やシステムのことをいいます。例えば、アドレス帳で相手の電話番号を調べることも簡単な情報検索のひとつです。みなさんが大学で行う情報検索には、次のような場合が考えられます。

- ① 授業で示された参考文献や資料の所在を探す。
- ② レポートや論文を執筆するときの研究資料を探す。
- ③ 興味や関心のあるテーマに関する本、情報などを探す。

ひとつひとつの文献をあたって、必要な情報を探し出すことは容易なことではありません。Web上で検索できるさまざまなデータベースやオンライン目録で文献や情報を探す方法を学んでおけば、膨大な情報の海に溺れることなく、必要な情報を効率よく探し出せます。



## 検索エンジンで情報検索

「Yahoo! (ヤフー)」や「Google (グーグル)」などの検索サイトのようにインターネット上で公開されている情報をキーワードなどを使って検索できるシステムのことを「検索 (サーチ) エンジン」といいます。検索窓と呼ばれるボックスにキーワードを入力して目的のページを検索します。現在、プログラムが自動的にサイト情報を収集する「ロボット型検索」が主流となっています。

### ■ 代表的な検索サイト 対応

#### Yahoo! JAPAN



<https://www.yahoo.co.jp/>



#### Google



<https://www.google.co.jp/>



#### goo

<https://www.goo.ne.jp/>



#### excite

<https://www.excite.co.jp/>



#### Infoseek

<https://www.infoseek.co.jp/>



### ■ 検索エンジンの落とし穴

Web上の無料情報は量的には膨大ですが、信憑性に乏しいものがかなり多く含まれています。情報の価値を的確に判断するには、情報を利用する側にも見識が必要です。以下の点を念頭において利用しましょう。

- ・すべての情報が探せるとは限りません。
- ・信憑性のないものも多く含まれ、正しい情報とは限りません。
- ・並び順上位の結果が必ずしも重要とは限りません。
- ・情報量が大量なため、必ずしも効率的な手段とは限りません。

### ■ 信頼できる情報源は？

このように、検索エンジンを使って自分の研究テーマに関係のあるページを見つけることができても、実際に研究で利用できる信憑性の高い情報は簡単には見つからないものです。そこで、この冊子で紹介するデータベース (P19~38「データベース活用法」) の出番となります。データベースは専門機関が作成するため、より信憑性の高い情報を得られます。